

編輯部報情閣内

報週真寫

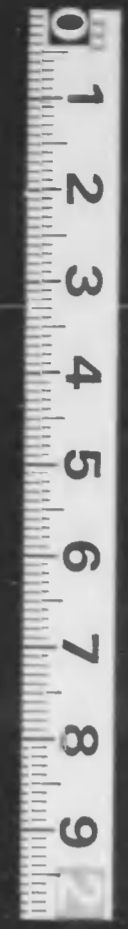
ンセ十 號日六月

昭和十三年三月十七日 第三編 鐵道挺進隊 昭和十三年四月六日發行 (第一編 日本國日發行) 第八號



江南に
進む
鐵道挺進隊
馬は兵器だ!

おともだち
羽田兒童馬場





英魂眠る満洲へ

国民精神總動員の秋
尊き父祖濺血の跡を弔へ

内地・朝鮮から
往復・回遊汽車賃
早 割
国 割
學生團體
二〇人以上
五割
引
以上引引

詳細は
滿鐵滿洲案内所へ
東京丸ビル 同 赤坂葵町
大阪駅前 同 同 枚田駅前
下關駅前

新京忠靈塔

局總道鐵鐵滿

準備は進む

東京オリンピックツク大會

主競技場候補地としてあげられる駒澤のゴルフ・リンクス



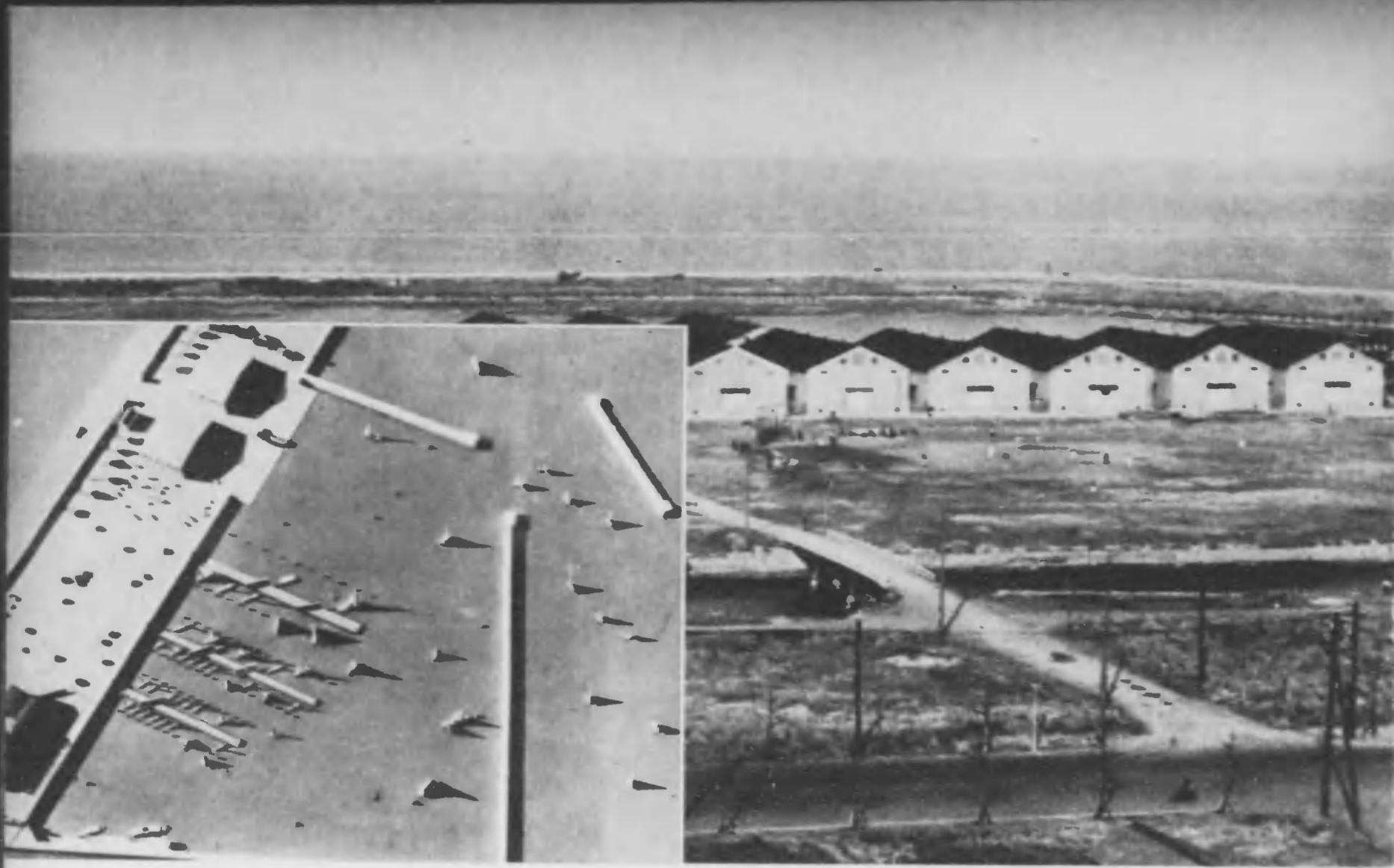
清新の気流する神宮外苑競技場



第十二回東京オリンピック大會はもう二年後に迫つてゐる！
わがオリンピック組織委員会では、この時こそ日本の國威を宣
揚しスポーツによる日本精神の發揚、國民地位向上の絶好機会と
して、關係者總動員全智能を集めて、今や來るべき大會への準備
は府々と進んでゐる。第十一回のベルリン・オリンピック大會
にも劣らぬものとすべく、眞摯な感氣込の下に。

現在の神宮外苑プールを使用しない場合はこの倍も
ある大プールスタンドを駒澤につくる計畫がある。

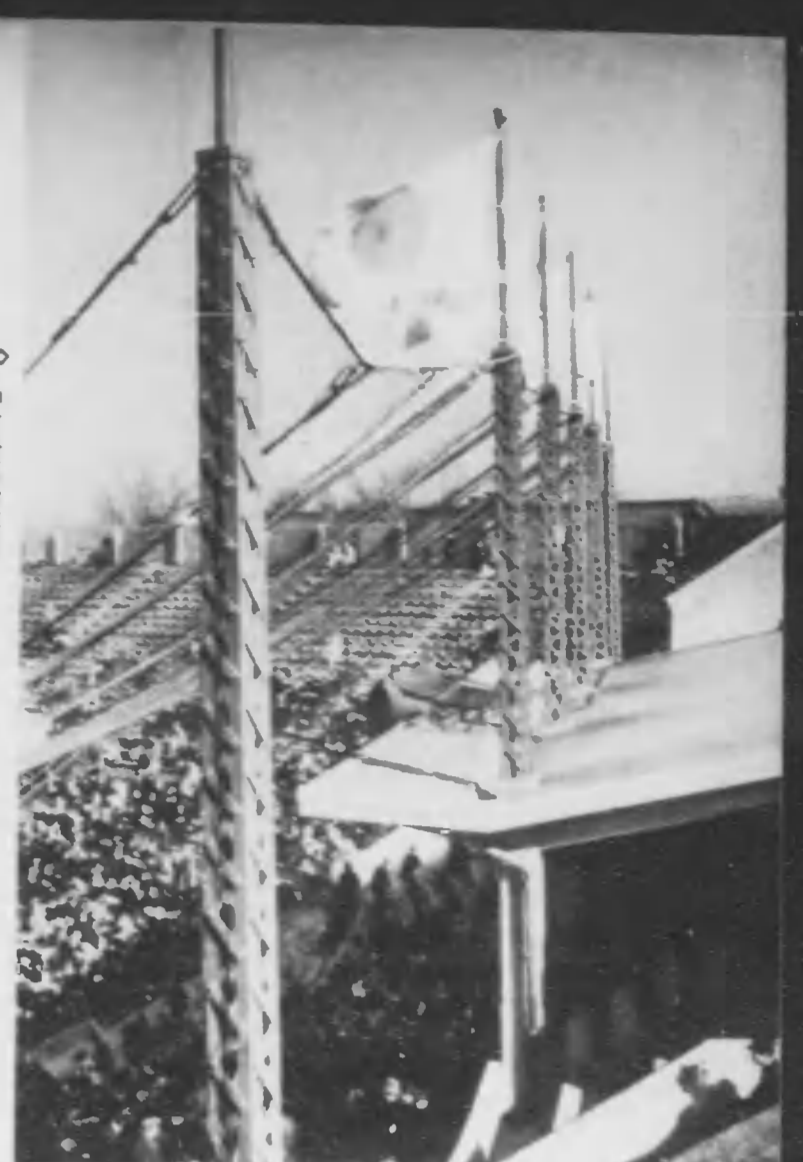




⇒ 新宿外野球場



北海道大会の大スタジアム
現在世界最大のスタジアムの一つである。カイロ会議ではスキー競技の開催地は一應大会から切離されたが、我が代表はあくまで札幌を開催地として主張してゐる。



⇒ ヨツツ・ハービーが
構築される横浜小漢
その設備を世界に
誇る横浜ヨツツ・ハ
ービーの模型



スポーツに關はせ
日本精神

第十二回オリンピック東京大会の諸競技場に就いては、組織委員会の意圖で、諸委員が設計され、同委員会が計画、準備が進められてゐる。

主競技場
昨年の組織委員会は、明治神宮外野球場を改修することに決定した。それによると現在の走路を二線減らし、デキア場を走路の外に一ツ添ふこととし、又スタンドを擴張して七萬五千人の觀客を收容せんとするものであるが、經費と建築の技術的方面に就いては更に調査委員の調査を要するものがある。目下此の點を考究してゐる。神宮外野球場が經費の點で、外野管理室と組織委員会との間に隔たりのある所へ、一方には、將來の體育場地上、競技場を新設增加するの必要であるとの意見が出てゐる。これによると神宮外野球場を改修するのではなく、トラファ、フィールドと十萬人の觀客を收容するスタンドを設計せよとするものである。何れにせよ、これに就いては近く調査委員の調査を持つて、組織委員会が決定する筈である。

水泳場
神宮外野球場の一角に五十メートルと二百八十メートルのコースを作る。經費百二十萬圓。

蹴球場
芝公園の競技場を改修し、ここに蹴球場を建設せんとするもので、收容人員一萬五千名、その費用六十萬圓が計上された。但し、神宮外野球場に建設する場合は現在の神宮外野球場を改修して用ゐられる。

ホッケー競技場
同上。

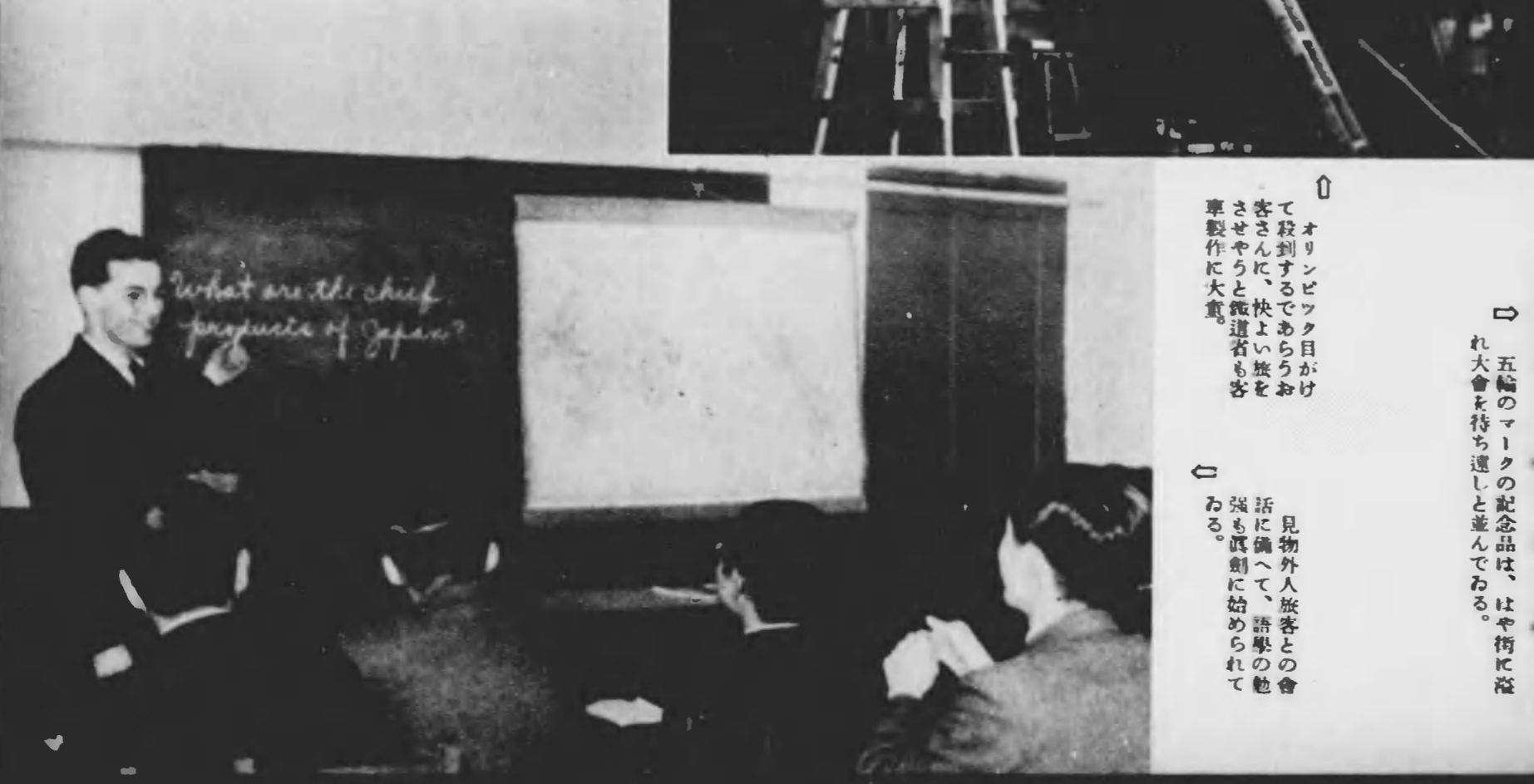
自衛隊競技場
芝浦海岸地の一角に作る。但し中央に四百メートルの陸上競技場を設け、周圍に五百メートルの自衛隊走路を造るのであつて、六千名の見物席、助席八千五百名を造る。その經費は六十五萬圓である。もし主競技場が改修に移る場合は自衛隊競技場内の陸上競技場を造らす。

滑道コース
埼玉縣戸田村に長さ二千五百メートル、巾八十メートルのコースを建設する。經費は八十萬圓。

射撃場
お茶の水公園に市民體育館を設ける。收容人員八千名、建設、レミング、ボウリング等を行ふ。工事費二百萬圓。

ヨツツ・ハービー
横浜小漢に造る。經費四十萬圓。近く着工の予定。

オリンピック村
神宮外野球場のゴルフリンクスに設ける。收容人員二千名、三十三名、經費百五十萬圓。



⇒ オリンピック目掛けて
殺到するであらうお
客さんに、快よい旅を
させやうと鐵道省も各
車製作に大奮

⇒ 五輪のマークの記念品は、はや街に溢
れ大會を持ち運ぶと並んでゐる。

⇒ 見物外人旅客との會
話に備へて、語學の勉
強も眞剣に始められて
ゐる。



⇒ ホテルもここかしこに新
築される、増築される。



隊身挺道鐵 江南に進む

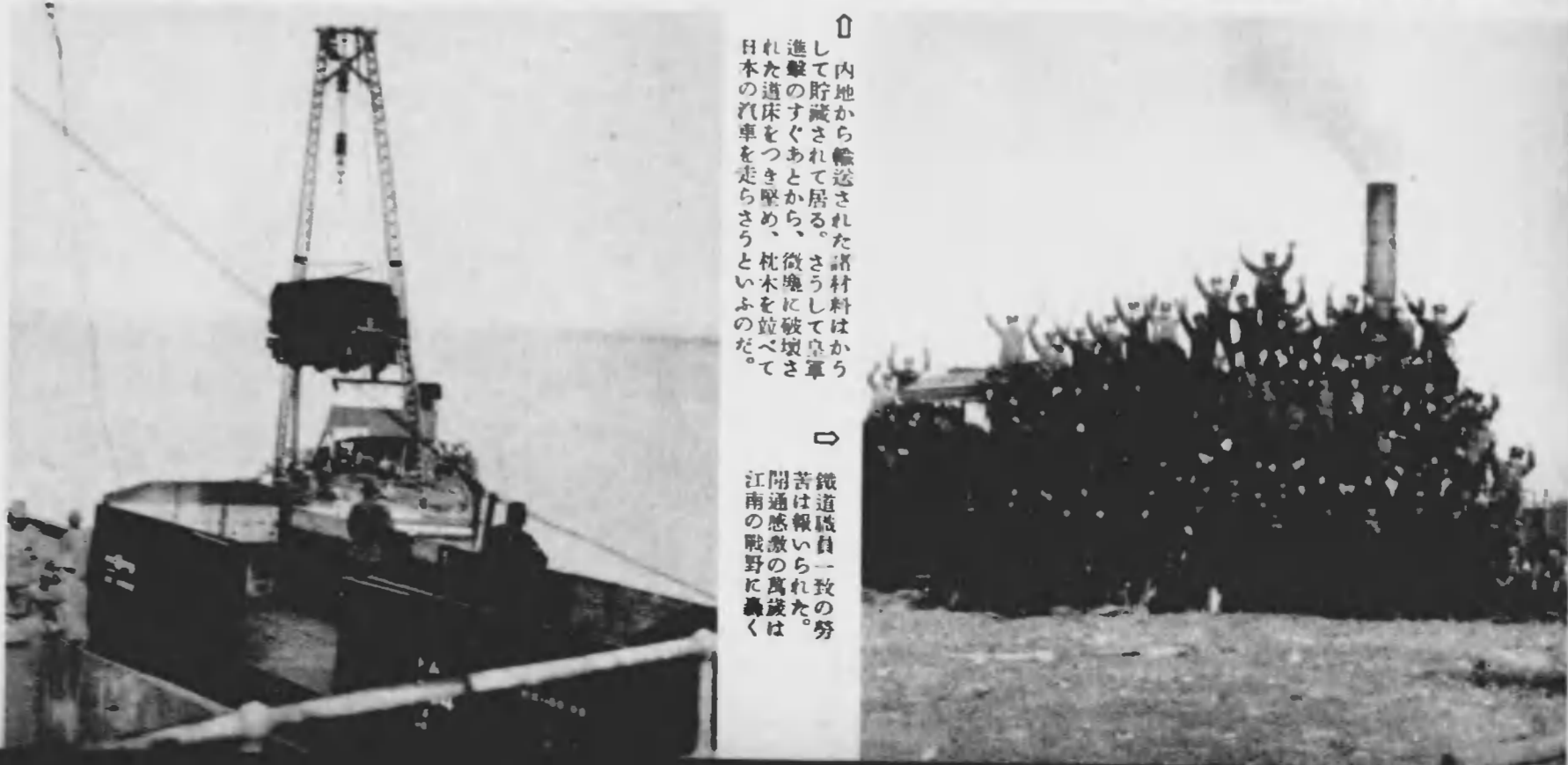
中支方面に出動した軍は、江南の三角洲一帯に陣取ると、その神速果敢な攻撃に、敵軍が防備を誇る要地な城壁も敢て陥落、北へ、西へ、南へと目覚ましい進軍を収めて世界の耳目を驚かせしめつゝ、一路南京攻めへと進軍を進めたのであつた。

かく進軍の果敢たると共に、大なる作戦費材を迅速に輸送する為鐵道建設の必要を痛感した軍当局は、鐵道省に對して鐵道車、材料、燃料及び之等車輛の組立、鐵路の復舊、並に鐵道省の職員を現地に派遣するやう依頼され、先づ第一班の車輛組立員〇〇名は、上海に向ひ、廢墟の吳淞工場に立て籠り、搬行した材料を採り付けて廢墟車輛の到着を待ち、内地鐵道工場で備蓄して置かれた廢墟車輛が御用船で入港すると共に、直ちに再開して之を組立て、十二月五日には復舊第一班目の皇國機關車が江南大平原の一角に勇ましい汽笛を響かせて、吳淞、上海北停車場の間を走つたのである。

續いて第二班の各系統の職員〇〇名は十二月十日に、第三班は十二月十六日及び廿日に上海に向ひ、或は鐵道線路や橋梁の修繕に、或は地方もなく破壞された通信線の復舊系統に更に之に次で軍用列車の運轉に軍と一體になつて作戦行動に協力し、戰事未だ牧まらぬ江南の野に、合計〇〇名の鐵道省職員は鐵道による軍事輸送の完成を期して、皇國機關車の運轉に參加する感奮に燃えつゝ、日夜鐵道業務に従事してゐるのである。

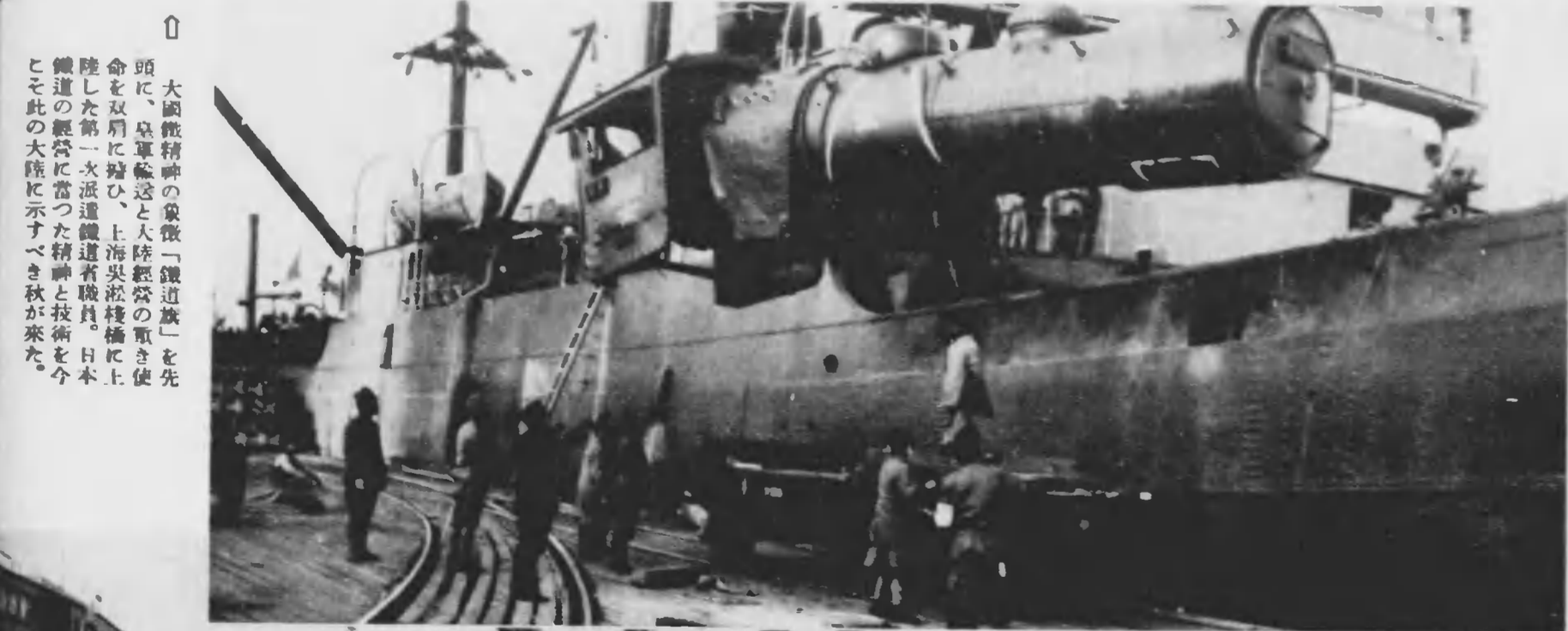
南京陥落して已に三ヶ月、江南の治安は若草の芽を出つる昨今朝色漸く暖かに、復舊工事も進み、皇國の實業を解する新政府の樹立も時間の問題とまでなり、沿線各地の復興も亦一入活氣を呈して来た。現地の鐵道職員は此の事業に對し、軍に軍事輸送だけでなく一般旅客貨物の運送も行ふ事が最も望ましい事と考へ、今や〇〇名の鐵道省従業員は、現況注目のうちに世界に誇るその専門の技術を示すべく、日夜困苦と戦ひながら活斷をつけてゐる。皇國の軍が、戰線の進に現地鐵道省従業員の献身的な努力があることを忘れてはならない。

鐵道省



内地から輸送された諸材料はかうして貯蔵されて居る。さうして皇軍の進軍のすぐあとから、微塵に破壊された道床をつき摩り、枕木を並べて日本の汽車を走らさうといふのだ。

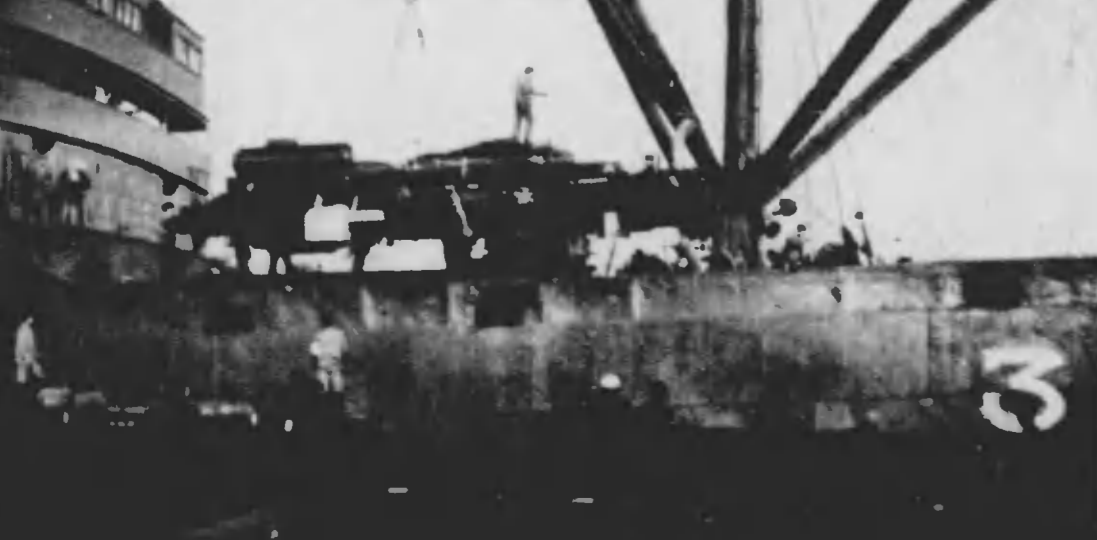
鐵道職員一致の勞苦は報いられた。開通感激の萬歳は江南の戦野に轟く。



大國鐵精神の象徴「鐵道族」を先頭に、皇軍輸送と大陸經營の重き使命を双肩に擔ひ、上海吳淞橋に上陸した第一派鐵道省職員、日本鐵道の經營に當つた精神と技術を今こそ此の大陣に示すべき秋が來た。

機關車の檢修
美しい日本の山野を疾駆してゐた陸の王者機關車はこのやうに解體されて運ばれて來た。皇軍の輸送を果すべく、又やがて新天地産業開發の先驅たるべく。

上 炭水車
右 森林の陸揚げ
左 森林の陸揚げ

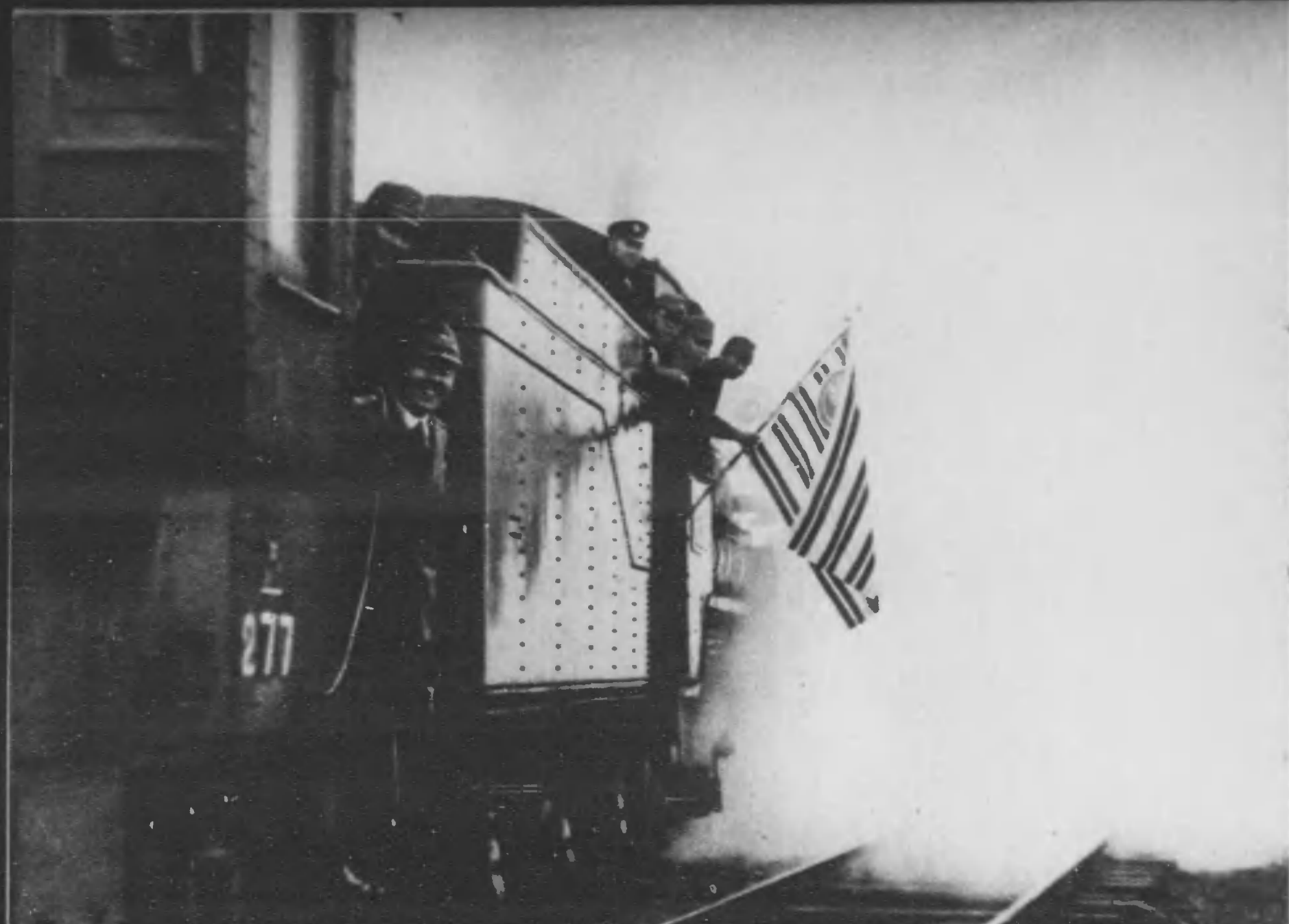




占據地域内でも
種々障礙が出渡す
る。殊に敵地真近
に進む時には、裝
甲車を機関車の前
に連結して敵の襲
撃に備へることが
必要だ。上は點火
される装甲車

颯爽と江南の春
風を切つて疾走す
るガソリン・カー

我等の機関車は
すつかり組立を了
つた。やがて點火
され、いよ／＼江
南の戦野に暴軍を
のせて勇ましくも
疾駆しやうとする
のだ。



上海南京間を最
初に走る列車、大
陸に繋へる鐵道放
東洋平和の大道は
先づ二本の軌條か
ら

昭和十二年十二
月五日、一九六七
九號機關車は鐵道
職員の溢るゝ感激
をのせ、我が最初
の機關車として上
海北停車場に到着
した。



馬は兵器だ 銃へ馴れよ馬

馬政局

今度の文部省で軍事が取られたが、馬の兵器としての地位は、馬の訓練とも云ふべき軍事の目的から見て、馬の訓練がなされるべきである。昔から戦争に馬がどれほど重要な役割を果たしたかは誰でも知っていることである。馬がいかにかに訓練され、兵器としての地位を失ふまでも、軍事の訓練は減少する。馬の訓練が過去の戦役の例から見て、軍事の訓練からしても明らかである。それ故に馬の訓練の一環々々でも、平時には馬の訓練がなされるべきである。軍事に必要に応じて、馬の訓練は軍事訓練として行われ、軍事訓練の範疇として、馬の訓練を受けるべきである。我が国では、日清日露の戦い、戦後から、馬の訓練の必要が認識され、明治三十九年、馬政局の設立がなされた。その後三十年間、官民一致の努力の結果は相當の成績を挙げることが出来たが、今一段の改良の必要が感じられ、昭和十一年馬政局第二次三十年計画を立て、馬の訓練の発展の方向とすべきである。



強健な馬を作るために、幼駒は牧草を食ふべきである。我が国の放牧地は、面積は現在約百萬歩、夫は現在、水飲、牧草、放牧上必要な設備が整へられてゐる。我が国の放牧地は、面積は現在約百萬歩、夫は現在、水飲、牧草、放牧上必要な設備が整へられてゐる。

我が国は、馬の生産が減少して、全馬の増産が急務である。馬の増産には、馬の増産が急務である。馬の増産には、馬の増産が急務である。馬の増産には、馬の増産が急務である。



また、馬政局の管轄の下に全国に二ヶ所の種馬牧場、一ヶ所の種馬育成所その他に十八ヶ所の種馬所を設け、これら牧場、育成所を生み、育てられた種馬を種馬所に保管して、民間改良の基として、又この種馬を民間種馬所の改良の向上、優良民間種馬の育成、育成の改良、馬の利用方法の改善普及、牧場の改良、飼料の増産、馬の衛生管理の改良、改良の改良等、凡そ各方面に亘つて種馬育成の向上の實を挙げ、来たのである。



春風をきつて若駒はとぶ

今や我が國は国力の凡てを擧げて、真珠の海へ進出するに當つて、我々馬士と共に、馬の改良に努力し、活潑な馬を育て、海軍の増進に努めて、民間改良の向上と共に、改良の向上に努めるべきである。我々馬士と共に、馬の改良に努力し、活潑な馬を育て、海軍の増進に努めて、民間改良の向上と共に、改良の向上に努めるべきである。



今生れたばかりの仔馬と母馬。後の仔馬は、産後、母馬の乳を食ふ。母馬の乳は、産後、母馬の乳を食ふ。母馬の乳は、産後、母馬の乳を食ふ。



馬を放牧しておくのと、他の害虫が山つき、すておけば、この畜生のために、馬は次第に衰へて死んでしまふ。そのため、放牧地には、薬浴設備をして、馬の體を消毒する。右は、熊本阿蘇郡内牧放牧地で馬の薬浴。



馬は農家の一員だ。田畑の耕作は、馬の力による。馬の力による。馬の力による。馬の力による。





渡河軍勢
午がての敵前渡河に備へて
隊の一隊は悉々と進む
西紅な夕陽を一杯に浴びながら



調教
 兜を曳き、荷車を曳いて
 みた馬も調教場に出ては風
 を切つて馳る。やがて我が
 勇士を乗せて勇ましく戦野
 を疾駆することだらう。

乗馬章
 軍用馬として立派に役立つ馬の資格を証
 明し、その所有者の名譽を表彰するため
 所定の検査に合格したものは馬政局から
 乗馬章が交付される。乗馬章には甲乙の二
 種があり、甲は金色で個人所有の馬に、乙
 は銀色で團體所有の馬に授與される。



警備速歩競走
 競馬の改良増殖
 をはかり、中間種
 の馬を奨励する目
 的での競走が行
 はれてゐる。
 その昔、ギリシ
 ヤ、ローマで行は
 れた戦車競走の面
 影も憶げれ、又北
 支、中支の戦野に
 馳駆する戦馬の姿
 を競馬場裡に時々
 たらしめる勇まし
 いレースである。

お百姓も、運送
 の馬に勝つて調教
 場に乗つて来た。
 競馬指導員の指導
 に従つてこれから
 みつちり調教を行
 ひ、自分の馬を立
 派な軍用馬に仕上
 けて、皇國のお役
 に立て、やうといふ
 のだ。

乗馬思想の普及
 はまづ婦人子供か
 らと言ひたい。外
 國の婦人に比べて
 遙かに劣つてゐる
 我が國婦人の體位
 を向上させるため
 にも、未來の勇士
 の訓練のためにも
 乗馬は一番愉快で
 効果がある。今で
 は政府の奨励によ
 つて安價に氣輕に
 馬に乗れる所が方
 々に出来てゐる。



神奈川縣足柄下郡軍用候
 捕馬鍛錬場にて、調教場り
 見る馬政局の係官

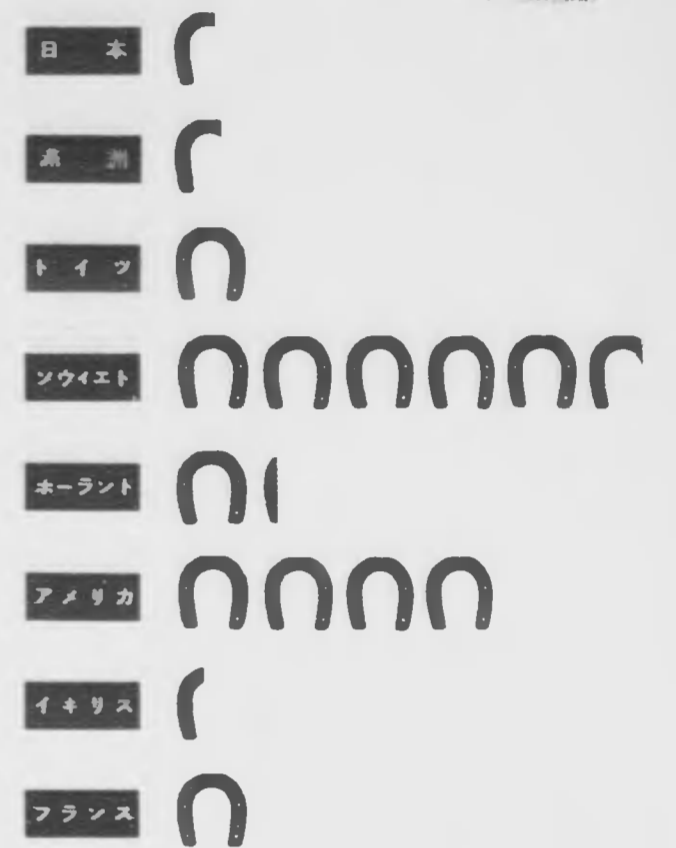
日本及世界各國總馬數

日本

(單位十五萬頭)

各國

(單位三百萬頭)

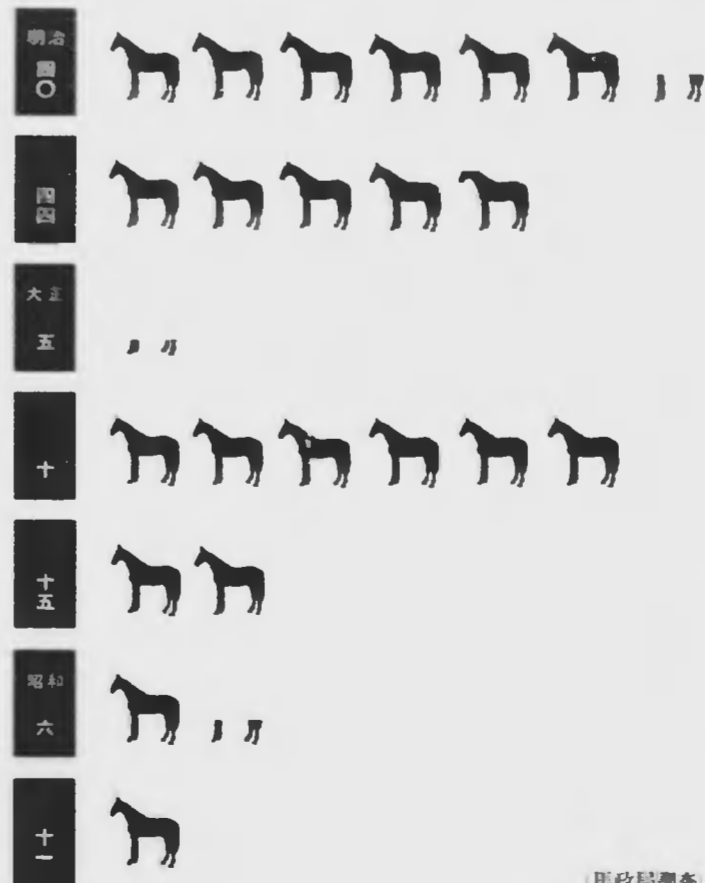


農林省調査

國際農事統計年鑑ニヨル

輸入種馬累年比較

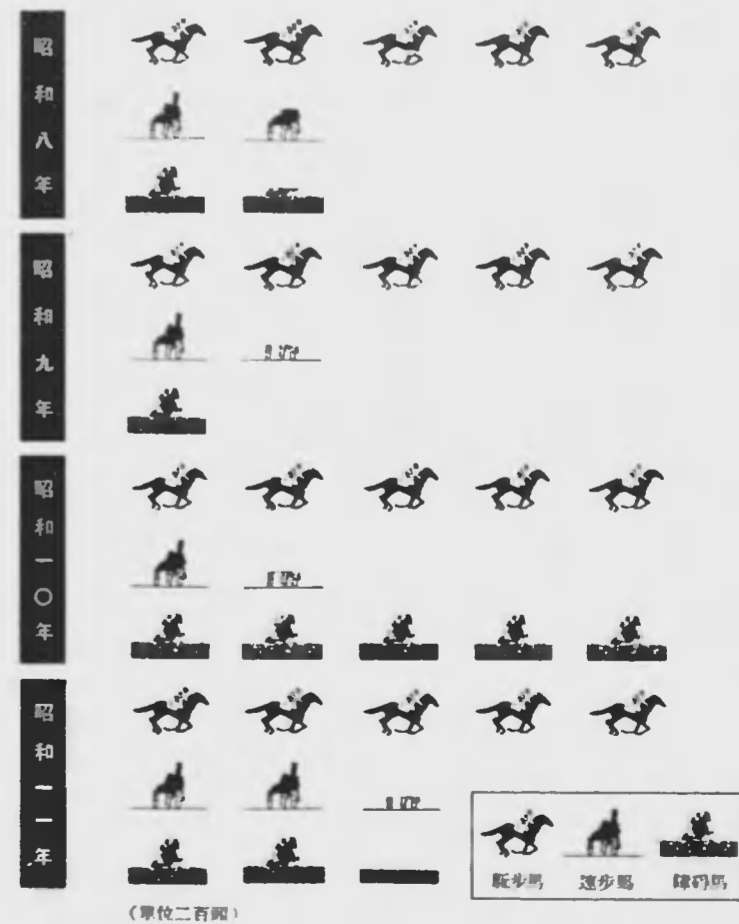
(單位二十頭)



馬政局調査

公認競馬出走馬累年比較

帝國競馬協會調査



(單位二百頭)

競歩馬 運歩馬 種馬

農會記念日——四月十一日——農林省

宮城縣の白菜が仙臺白菜と銘打つて華々しく中央市場に登場してから早や十幾年「四千車出荷」の實績は堂々つねに我が國出荷蔬菜の王座を占めてゐる。縣農會及び縣農事試験場では今後いよ／＼仙臺白菜の名を高からしめやうと、その品質改良の指導に懸命の努力を拂つてゐる。

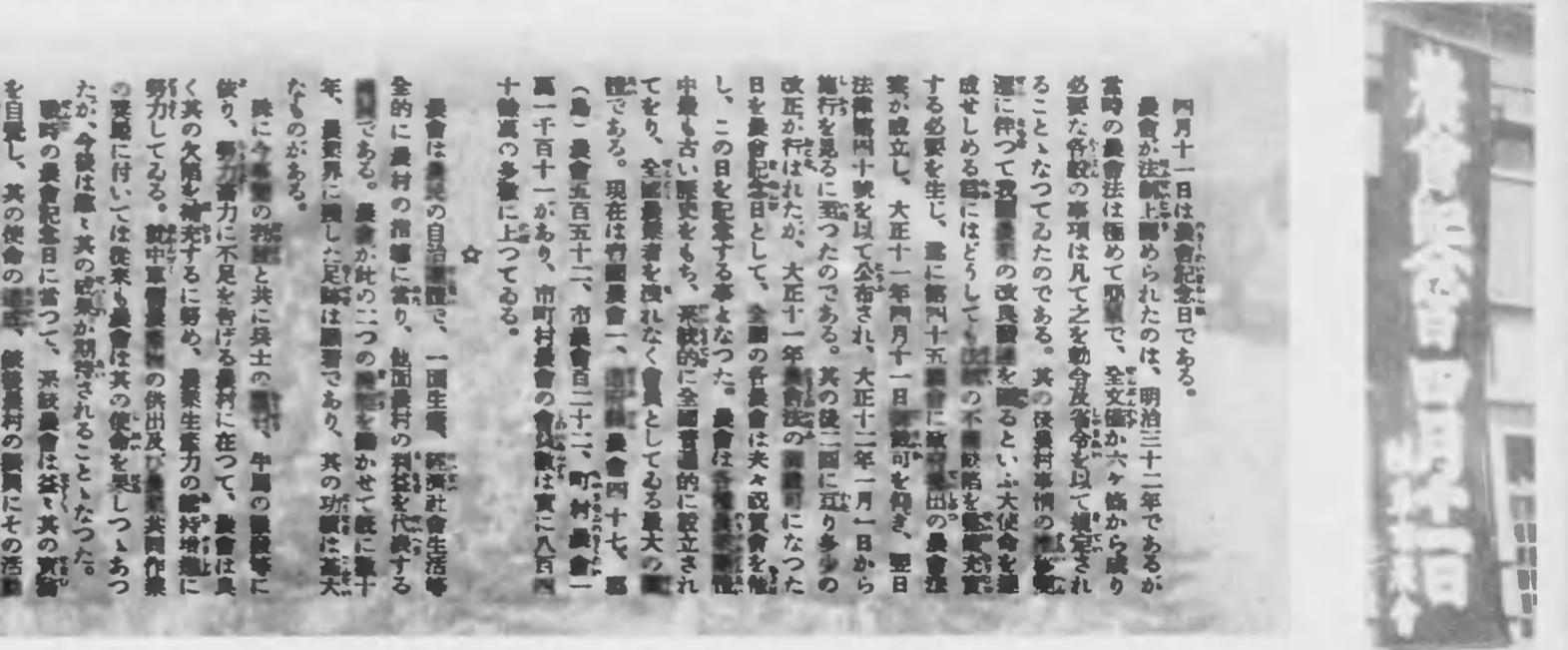




海抜三千尺、群馬縣高井村二十二平方里の高原は、廣さに於ては僅に二部以上の面積を占めながら、十数年前までは寥々たる山村であつたが、縣農會の適地適作の指導奨励によつて、高原地帯の特殊の氣候を利用して所謂「高原蔬菜」を栽培し、八月、漬物蔬菜の最も欠乏する穴を埋つて大都會にどしどし送り出されるやうになり、かつての山村も今は一種富裕な村として現在では普通作の他に、高原甘藍十八萬貫白菜六十萬貫を出し、更に農林省の轉輸で長野縣と協力、種子用馬鈴薯五十萬貫の運輸出荷を行つてゐる。



神奈川縣高井村は現在全國でも有数の養豚地である。同郡では一軒で三十頭の豚を飼養してゐる農家も少なくなく、肥料も税金も養豚の収入で充てたいふ有様である。



四月十一日は農會記念日である。農會が法律で定められたのは、明治三十二年であるが當時の農會法は極めて簡單で、至文句六ヶ條から成り必要な事項は凡て之を命令官令等によつて規定されることとなつてゐたのである。其の後の事情の變遷に因つて農會法の改良を要するといふ大使命を遂行せしめるにはどうして、法律の不備を補つて實に實するの必要を生じ、遂に第四十五條に政府農田の農會法案が成立し、大正十一年四月十一日認可を得、翌日法律第四十號を以て公布され、大正十二年一月一日から施行するに至つたのである。其の後の二回に亘り多少の改正が行はれたが、大正十一年農會法の制定にまつた日を農會記念日として、全國の農會は夫々祝賀會を開き、この日を記念する事となつた。農會は昔は農村の中核をなすものであり、農民の生活の中心に立つてゐた。現在では行政機構の一環としてゐる最大のものである。農會は五百五十二、市農會百二十二、町農會一萬一千一百一十一があり、市町村農會の會員数は實に八百四十餘萬の多數に上つてゐる。



農林省では今度事態による農村生産力の減退を防ぐために、不足を告げる努力を共同の力で補つて行かうといふ目的で、農林共同作業の奨励を各地方農會を通じて行つてゐる。上は茨城縣結城郡名崎村での養豚共同作業



又同者では一方養豚家の努力不足を補ふために、全國農村に勤務主任の設置をすゝめて農家の生活安定を期してゐるが、徳島縣農會はこの主旨に基き全國に率先この指導に乗り出した

酒の兵庫はまた米の兵庫である。灘の銘酒が天下にその名を馳せしてゐるのも優秀な醸造技術と良質の水に加ふるに、縣下から優良な酒米を購買に供給するからである。縣官民は協力して年々酒米の改良に努めてゐるが、醸造期に入れば縣農會の指導によつて醸造家と農家との間に納入酒米の價格、數量が決められ、縣下各郡は酒米の山を築く盛況を呈する。

愛知縣の養豚業は日本一である。鶏の總數約五千九百萬羽、年約五億四千五百萬圓、金額にして一千百六十萬圓に上る卵を生む。

KBK

KANIHO

SAVON DE SOIE

鐘紡絹石鹸

肌の絹で皴石絹

た来出らか新
皴石絹紡鐘

三個入 { .50
1.50
6.00

鐘紡株式会社メビウ紡鐘 町田市市戸神・元賣發

毎水曜日發行

見本希望の方は内閣印刷局宛御申出下さい

編輯部情報閣内

週報

トッレフンパの策國
常民國

内閣印刷局發行

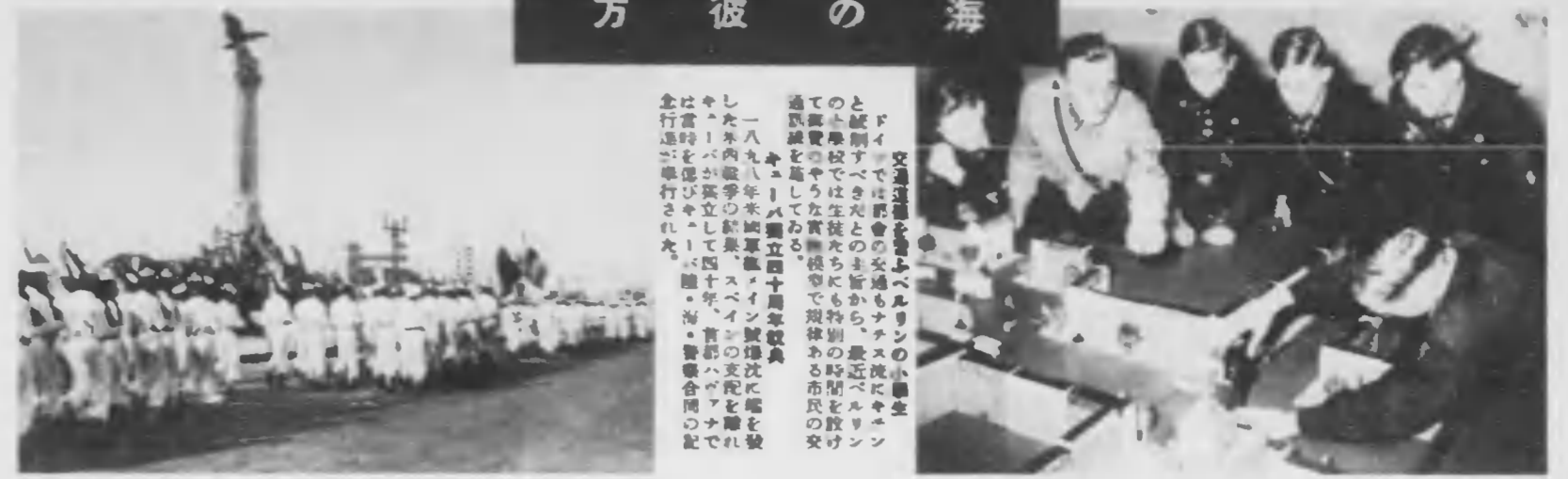
所 込 申

内閣印刷局發行課
東京市神田区西本町三丁目二番地
電話二九三〇〇
郵政省第三三〇〇番
郵便局

全国各地官報販賣所
東京書籍株式會社
最寄書店・驛賣店
各地新聞販賣店
寫真材料店

定價
一部五圓
年報(前金)四圓十錢

方彼の海



この写真は、東京市立第二中学校の野球部の練習風景である。選手たちは、真剣な表情で練習に取り組んでいる。監督は、選手たちの動きを注視している。



この写真は、東京市立第一中学校の自転車部の練習風景である。選手たちは、速く自転車をこいで練習している。監督は、選手たちのペースを調整している。



この写真は、東京市立第三小学校の児童が、学校通学の安全を呼びかけるための活動を行っている様子である。

寫真募集規定

本誌は「寫真週報」の一助にもと考へ、出来る限り、寫真を掲載し、読者のカメラを動かす、寫真を技術を持つてゐる、題材は内外無差別、國策の宣傳に關するものなら、何れでもよい。例へば、田舎の風景、或は工場、家庭、學校など、所々に、寫真の發表は、國民精神の鼓舞、或は季節と重なり合う、組合せなど、いろいろでせう。一枚の寫真でも、感動と、眼の寫真でもよく、締切日は決定せず、サイズは、必ず、横以上、掲載の分には、海渡又は、本誌を、郵送し、版権は、當誌に、譲渡するものとす。原稿作品は一切返却せず。

内閣情報部

所 込 中	價 定
東京市立第一中学校	一年部 四十錢
東京市立第二中学校	一年部 (前金) 四十錢
東京市立第三小学校	一年部 (前金) 四十錢
東京市立第四小学校	一年部 (前金) 四十錢
東京市立第五小学校	一年部 (前金) 四十錢
東京市立第六小学校	一年部 (前金) 四十錢
東京市立第七小学校	一年部 (前金) 四十錢
東京市立第八小学校	一年部 (前金) 四十錢
東京市立第九小学校	一年部 (前金) 四十錢
東京市立第十小学校	一年部 (前金) 四十錢

今週のキヤマ	表紙(とち)も
海	吉田 榮
鐵道の父より	保田 隆
馬は兵器だ	馬場 政
農會記念日	帝農 會
鐵道の父より	保田 隆
海	同業通信社

富國徴兵



子供の保険は

出世保険
徴兵保険

本社 東京 日比谷
社長 榎津 一郎

富國徴報

昭和十三年一月十二日 第三種郵便物認可 昭和十三年四月六日發行 毎週一圓水曜日出行 第八號

(本書の大きさは縮尺A4・二週報二倍)